

2014年いなげの浜オープンウォータースイムスクール

実施報告書

【期間】 2014年7月19日（土）～2014年8月23日（土） 毎週土曜日、全6回開催

【時間・参加者数・気象条件など】

実施回	日程	時間	参加者	気温	潮目
第1回	7月19日	14:00-16:00	35名	26℃	小潮(満0910、干1516)
第2回	7月26日	14:00-16:00	29名	36℃	大潮(満1710、干1008)
第3回	8月02日	14:00-16:00	37名	33℃	中潮(満0812、干1418)
第4回	8月09日	14:00-16:00	31名	28℃	中潮(満1645、干0951)
第5回	8月16日	14:00-16:00	51名	29℃	中潮(満0832、干1424)
第6回	8月23日	14:00-16:00	28名	29℃	中潮(満1642、干0948)

参加人数：のべ211名 ※事前申込者は250名

(昨年のはのべ207名 ※事前申込者は221名)

【講師・スタッフ・ライフガード・救護員】

	氏名	所属	担当回数
■講師	杉本 宏樹	稲毛インター	4回
	吉越 慎吾	スポーツクラブ NAS	4回
	太田 麻衣子	チームアオヤマ	4回
	加藤 友里恵	稲毛インター	1回
■スタッフ	伊藤 喜志子	稲毛インター	5回
	河野 力	稲毛インター	5回
	高梨 翔太	稲毛インター	5回
	米谷 哲	稲毛インター	1回
	佐藤 陽介	スポーツクラブ NAS	1回
■ライフガード	御園 健二	稲毛インター	4回
	中原 宏	千葉県トライアスロン連合	1回
	織田 寛樹		1回
■救護員	石井 なおみ	千葉県トライアスロン連合	5回
	井花 元代		2回

【総評】

いなげの浜オープンウォータースイムスクールも4年目を迎え、千葉の夏の風物詩として定着して感がある。本年度はスポーツ振興くじ助成を受けて実施することができたため、物品の購入や各種製作物、広告宣伝に助成金を充てることが出来た。講師陣も複数年、経験していることから連携も取れるようになり、運営上で大きな問題点はなかった。天候に恵まれない回が多かったため、参加者延べ人数は昨年と変わらないが、スクールの質は間違いなく向上させることが出来たと感じている。これもひとえにこのスクールへ協力してくださる団体、講師、スタッフのご尽力による賜物である。

【運営面の課題】

- ①青潮の影響を受けやすく、直前に中止せざるを得ない要素をはらんでいるため、そうなった際の対応が出来るかどうか（陸トレや座学へ内容を変更して実施できるか？）
- ②人間に危害を加える赤エイが多数生息しているため、万が一参加者が被害にあった場合に全スタッフが対応できるかどうか

【今後に向けて】

昨年、課題としていたものについてはほぼクリアすることが出来たが、来年に向けては上記のようにスクールを実施する環境にいくつか問題点があるため、来年のうちに改善できるかどうかは現時点では判断出来ない。運営形態としては形が出来上がりつつあるので、これをさらにブラッシュアップさせていくことを目標とする。現状の規模からの拡大（例えば午前・午後の1日2回開催など）はスタッフ数を確保することを考えた場合に困難なため、当面は現状維持を基本として考えたい。可能であれば、来年もスポーツ振興くじ助成対象事業として実施したと考えている。

【助成金額（交付決定額）】

助成区分	スポーツ団体スポーツ活動助成
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	いなげの浜オープンウォータースイムスクール事業
助成対象経費限度額	1,544,355円
交付決定額	1,235,000円

【助成金の使途】

- ・講師やスタッフ（運営、ライフガード、救護員）への諸謝金
- ・スイムキャップやレスキューチューブ、ブイなどのスポーツ用具購入
- ・web広告やチラシ、ポスターなどの広告宣伝費

【助成金を活用して購入した物】



ウォーター
パークチューブ



ブイ



アンカー
ロープ



スイムキャップ
スタッフ、参加者用

【助成金を活用した制作物】



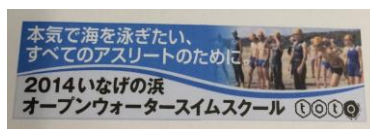
スウィングバナー



ポスター
(B2 サイズ)



チラシ
(A4 サイズ)



Web 広告

【スクール風景】



=以上=